

## 心理学実習

(Laboratory work In Psychology)

### 【責任者/担当者】

〔心理学〕室井 みや 教授

### 【担当者】

〔心理学〕堀川 雅美 非常勤講師、青木 知史 非常勤講師、中尾 将大 非常勤講師

### 【目的】

心理学は、言葉、態度、行動、表情などを手がかりにして、科学的な方法によって、直接、目にするのできない心について、多くのことを明らかにする行動の科学である。心理学実習では、心理学における代表的な実験方法、調査、検査を体験し、そこから得られたデータをまとめ、解釈する過程で、心を科学的に理解する方法、論理的な考え方を身につける。また、得られた結果をレポートとしてまとめることで、論理的な文章の作成について学ぶ。

### 【科目キーワード】

「心理学実験(Psychological Experiment)」「心理検査(Psychological Tests)」「論理的思考(Logical Thinking)」「論理的文章作成(Logical Writing)」

### 【到達目標(アウトカム)】

- 心を理解する科学的な方法について説明できる。
- 心理学の研究方法について説明できる。
- 心理検査について説明できる。
- データから情報を読み取ることができる。
- 結果を適切にレポートにまとめることができる。

### 【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・他者を理解し、互いの立場を尊重できる。
- ・他者の立場を考えて接することができる。
- ・様々な病気や障がいを知っている。
- ・医学研究を知っている。
- ・同級生と教え合う態度を養成できる。
- ・検査や基本的手技を知っている。

### 【概要ならびに履修方法】

毎回、2時限連続で、最初に手順を説明した後、一斉に実験、調査、検査を行う。2～7回目の授業では、3グループに分かれ、グループごとに異なるテーマで実習を行い、レポートを作成する。

### 【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

学習は不要

### 【成績の評価方法・基準】

単位の修得には、全出席、および期限内にすべてのレポートを提出することが必須である。出席、実習中の態度 50%、レポートの内容 50%。ただし、履修態度が不良の場合、出席状況、レポートの出来にかかわらず、不合格となる。再試験は実施しない。

### 【学生への助言】

1～2 回ごとに教室が変わるので、注意すること。指示を守り、まじめに実習に取り組み、レポートを作成すること。

### 【フィードバック方針】

第1週、第2週、第4週、第6週のレポートについて、授業内にフィードバックを行う。

### 【オフィスアワー】

曜日:月～金、時間帯:11:40～12:40

### 【受講のルール、注意事項、その他】

実習の進行を妨げるので遅刻しないようにすること。やむを得ない理由で欠席する場合は、実習の進行を妨げないよう、責任者まで早急に相談に来ること。

### 【教科書】

なし

### 【参考書】

「心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで(3 版)」細江達郎、細越久美子 訳(北大路書房)2019 年

### 【連絡先】

教育研究棟 5 階 心理学 教員室